

工種	その他
杭工事	

## 1. 【シナリオネタの解説】I

題目：杭孔に携帯電話を落してしまい、始末書を書かされた

### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	現場員のS君が
	Where（どこで）	場所打ち杭の杭孔付近で
	When（いつ）	杭工事の施工管理時に
	Why（何のために）	杭長の測定をするために
	How（どのように）	杭際にかがんだ時に
	What（何をどのように）	杭孔に携帯電話を落した

### 解説

場所打ち杭工事では、重機にて杭直径が入る大きさの穴を所定の深度まで削孔して、コンクリートを打込む前に、現場員が掘削深さが所定の深さまで掘られているかの確認を行う。深さ確認の際、杭孔に対して前かがみになった時に、胸ポケットの中に入れてあった携帯電話が杭孔に落下してしまった。携帯電話を回収しようにも深度 50m まで降りていくことは不可能となってしまった。その後、携帯電話を紛失したことを報告し、対策として落下防止処置を取る事になった。当時は（1999 年頃）は、携帯ストラップ等の種類も少なく、探し回ってスパイラル状のあまりデザイン的に格好良くない落下防止処置を所員全員が付ける事になってしまった。

## 2.【シナリオネタの解説】F

題目：井戸

工種	その他
掘削工事	

### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	現場係員が
	Where（どこで）	地下掘削工事中に
	When（いつ）	掘削中に井戸の跡が出てきたが
	Why（何のために）	特に何も対処せず、掘り続けたら
	How（どのように）	重機が壊れたり、職人さんが病気になったりした
	What（何をどのように）	神主さんにお払いしてもらったら、何も起きなくなった

### 解説

昔から、井戸というのは、神様が住んでいるといわれていて、勝手に埋めたりしてはいけないという言い伝えがある。古い土地では、よく昔の井戸が出てきたりするが、職人さんは、きちんとお払いして、手順を踏んで埋めない限りは触らない。

ただし、このときは、掘削していたときに、地中から、古い井戸の跡が出てきたので、てっきりきちんと処理してあると思ったが、どうもいい加減に埋められていたようで、不思議なことがいろいろ起こった。

昔からの言い伝えは、無視すると、職人さんの士気も上がらないし、何かあったときに、職人さんの言い訳になるので、きちんと対応するべきである。

また他にも井戸に関する話は多々ありまして…。

昔の井戸ではなくて使用中の井戸がある民家もごく稀にある。現場付近にそういった家があると要注意である。掘削工事等で地下水位が下がったり、工事によって地下水の流れが変わって、井戸が枯れてしまった事例もある。そうなると当然補償問題になってかなり大変なことになる。

現場監督の共通イメージ 「井戸は怖い(>\_<)」

工種	その他
足場組立	

### 3.【シナリオネタの解説】A

題目：仮設材を軽トラに乗って借りに行く！

#### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	現場監督が
	Where（どこで）	現場内で
	When（いつ）	足場組の材料が足りなくて今日中に終了しない時に
	Why（何のために）	外部足場組を今日中に終わらすために
	How（どのように）	軽トラに乗って
	What（何をどのように）	仮設材を近くの現場に借りに行った

#### 解説

事前に鳶職と打合せを行い、一日で組み上がる足場材を注文した。当日朝から足場を組み立てていたが、昼過ぎに鳶の職長から、「足場今日中に組み上がらへんで」と言われ、何で？と聞くと、「材料が足らへん」と返事が返ってきた。

先輩に相談すると、「今日中に組み上がらへんと明日の鉄筋屋の作業がストップするから、何とか残っている材料で、組めないか頼んでみる」といわれ、鳶の職長にお願いに行くと、「今ある材料では無理や」とそっけない返事。どうしようもない時に、近くの現場の主任から、ちょうど電話が掛かってきて、「元気ない声やな。何かミスしたんか」と聞かれ、材料のことを説明すると、「うちの現場に余っているのがあるから、貸したるわ」といわれ、職人から軽トラを借りて、すぐに借りに行き、何とかその日のうちに足場を組み上げることができた。

通常、建物を建てるために四周を足場で囲うのだが、足場（工事に組み立てる仮設の作業床、通路。鉄パイプを組み合わせたものや専用の部材がある）を組み立てるには、足場の割付けを計画し、組立に必要な材料をリース会社に注文する。そして組み立てる日までに、リース会社からトラックにて搬入しておく。（余分な材料を注文すると、その分のリース代がかかってくるし、余分な材料を置くスペースが無い現場もある）次に鳶工（建築・土木工事で高所での作業足場の組立・解体などを行う職人）に足場割付図を渡し説明して、足場を組み上げる。

#### 4.【シナリオネタの解説】A

題目：窓開口の大きさ変更による失敗

工種	その他
型枠	

##### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	現場監督のS君が
	Where（どこで）	現場内で
	When（いつ）	型枠が組み終わった時に
	Why（何のために）	窓開口を変更したために
	How（どのように）	職人に頼んで
	What（何をどのように）	型枠をばらして鉄筋を組み直して、もう一度型枠を組んでもらった

##### 解説

最上階だけ設計図よりパンフレットの窓のほうが大きく変わっていたのを、チェックし忘れて、施工図を渡してしまった。

そしてコンクリート打設の3日前に、窓の開口の大きさが変更されていることに気づき、鉄筋工や型枠大工の職長に急いで説明して、やり直してもらった。

もしコンクリートが打ち終わったあとで気が付いたら、コンクリートを斫る(壊す)事態となって、もっと大変なことになっていた。

鉄筋コンクリート造の建物躯体は、鉄筋を組立て後、型枠（打設されたコンクリートを設計上の形状や寸法に保ち、コンクリートが必要な強度に達するまで支持する仮設構造物の総称）を建て込んで、コンクリートを打ち込む。鉄筋や型枠は、施工図を見て組み立てていく。施工図はゼネコンから、鉄筋工（鉄筋コンクリート構造の強度を保つため、工場加工された鉄筋を組み立てる職人）や型枠大工（コンクリートを流し込む型枠を組み立てる職人）の職長に渡される。分譲マンション工事の場合、マンションのパンフレットと設計図に相違があった場合、パンフレットが優先される場合が多い。

（コンクリートを流し込む工事の際、「打ち込む」あるいは「打設する」と表現する）

工種	その他
生コン打設	

## 5.【シナリオネタの解説】E

題目：生コンを発注ミスし、4台まるまる返した

### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	現場監督が
	Where（どこで）	兵庫県のとある現場で
	When（いつ）	生コン打設工事の日
	Why（何のために）	コンクリート発注のため
	How（どのように）	電話連絡で
	What（何をどのように）	発注台数を間違えた

### 解説

建築現場の工程において、生コン打設工事は当日に生コン製造工場と現場との間で電話等により、発注及び数量調整が行われる。生コンは、現場での打設時を想定して工場で混合される。取り出す時間が遅くなると車中で硬化が始まり品質を確保出来なくなる。

その時は、郊外の現場で、生コン工場との距離が遠く、予定数量も多くて作業時間が定時を超えていた。

現場で残りの必要量を検収し、現在生コン工場から現場へ走行中の分を考慮し、最終発注量を決定する。

通常は残り数台になった状況で最終調整を行うが、上記理由等により、早い段階での見切り発車的な発注が余儀なくされた。

その結果、生コン車4台分がまるまる余ることになったが、それが所長等にばれると大目玉を食らうことは解っていたので、主任にだけ相談し、速やかにそのまま生コン工場へ返却した。

返却した分の生コン費用は現場負担となり、「その金があったら何回飲みに行けたんやろうなあ・・・」と、主任に嫌味まじりに怒られた。

生コン：レディミクスコンクリートのこと  
硬化前のコンクリートを言う

## 6.【シナリオネタの解説】F

題目：土間レベル

### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	入社3年目の現場監督が
	Where（どこで）	12階建てのホテルの新築工事にて
	When（いつ）	3階床コンクリート打設時に
	Why（何のために）	
	How（どのように）	土間押えのレベルを間違え
	What（何をどのように）	躯体検査後、研り補修した

### 解説

内装工事が別途発注のため、スケルトン渡し(仕上工事なしの状態)で引き渡す)のホテルの新築工事にて・

内装業者が入る前に、内部の有効寸法が有るかのチェックをしていたら、3階の階高が10mm程度不足していた。

床の開口でスラブ厚を計ってみたら、異常にスラブが厚い。

どうやら、3階床コンクリート打設時に、土間レベルを10mm程度高く間違えていたようだ。

とりあえず、有効寸法が取れていない部分(200㎡くらい)を研る(コンクリートを砕くこと)のに、研り工4人工、ガラ片付け、ガラ降ろし清掃で、土工5人工、土間補修にて、左官工5人工くらいかかった。

その後、現場監督が、主任にこってり絞られたのは、言うまでもない。

(補足)躯体打ちあがりの検査は、コンクリート打設後すぐ、行うこと

1人工(にんく)は職人1人が一日働くのに相当する仕事量の単位

工種	その他
墨出し	

## 7.【シナリオネタの解説】A

題目：測量機器（光波計）は、車が1台買える程高価

### 条件説明

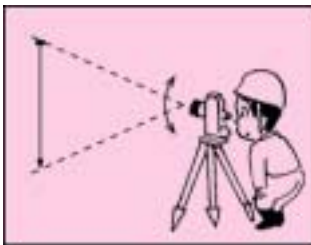
No.	条件	説明文
	Who（誰が）	現場監督が
	Where（どこで）	現場内で
	When（いつ）	捨てコン打設後の墨出しの時に
	Why（何のために）	墨出しをするために
	How（どのように）	測量器の三脚を蹴飛ばして、計測器を倒したとき
	What（何をどのように）	先輩に怒られた

### 解説

計測機器にて墨出しをしている最中に、職人に呼ばれて、その場を離れようとしたときに、計測機器の三脚を蹴飛ばし、倒して壊してしまった。そばに居た先輩が駆け寄ってきて、「お前、これなんぼするか知ってるか？車1台ほどするんやぞ！」といわれて、その時、「どうやって弁償しよう」と思うと、頭の中が真っ白になった。

弁償することはなかったが、始末書を書かされた。あとから計測機器には保険がかけられていることを知り、少しほっとした。

掘削完了後捨てコン（土間コンクリートあるいは基礎などの下に、前処理として打つ厚さ5～15cmの敷均しコンクリート。構造上の意味はなく、基礎の底面を平らにし、この上に基礎の中心や型枠の位置などの墨出しをするために打つ。捨てコンともいう）を打設する。その後、通り芯及び柱、梁、壁の墨出し（作業の基準となる線を現地に書くこと）を行う。墨を出す時に、計測機器（望遠鏡を用いて水平角や鉛直角の測定ができる測量機器）を使用する。計測機器は、下の図のように本体を三脚に載せて、覗いて計測する。



## 8. 【シナリオネタの解説】F

題目：断熱ウレタン

工種	その他
断熱工事	

### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	監督監督一年生が
	Where（どこで）	浴場のスラブ下に、
	When（いつ）	仕上工事にて
	Why（何のために）	断熱ウレタン吹付けを行ったとき
	How（どのように）	
	What（何をどのように）	先行配線のエフケーブルをウレタンまみれにした

### 解説

建築工事においては、部屋内の断熱（保温）のために、一般的に外壁の内側にウレタン製の溶液を現場で発泡させて壁面に吹き付ける。

老人保健施設の新築工事、別棟の鉄筋コンクリート造1階建の浴場にて・・

主任から、断熱ウレタンを、浴場天井のスラブ下に吹き付けるよう指示を受けた新人監督は、そのままウレタン屋さんに指示を出した。

そのとき、ウレタンを吹くことを知らなかった電工さんが、仕上の追い込みのため、先行して壁や天井に貼り付けるように配線をしていたが、別に問題にならないだろうと深く考えていなかった。

ウレタン屋さんも、あまり経験が無いため、新人監督の言われるがまま、電線だらけの天井を、何も保護せずに、思いっきり吹きまくった。

作業終了して、完璧に断熱された天井を、満足げに見ていた K 君は、背後に人の気配を感じて振り返った。

そこには、電気屋の番頭さんが、天井を見上げ、真っ青な顔をして立っていた。

電線に直にウレタンが付くと、溶けたり、発火したりする可能性があるらしい。

とりあえず、仕事を知らない新入社員ということで、電工さんは何も言わず、やり変えてくれたが、あとで、新人監督が、主任にみっちり怒られたのは、言うまでもない。

(補足)いまでは、だいぶケーブルの性能が上がり、多少は大丈夫のようだ。

9.【シナリオネタの解説】C

工種	その他
植栽工事	

建物竣工後の密かな楽しみ

条件説明

No.	条件	説明文
	Who (誰が)	現場職員が
	Where (どこで)	
	When (いつ)	現場が竣工するとき
	Why (何のために)	
	How (どのように)	外構の植え込みの中に
	What (何をどのように)	こそっとアイビーを植えた。

解説

現場が竣工するときは「やっと完成した!」という喜びもあるが、今まで大事に作り上げてきたものが手から離れる寂しさみたいなものもある。(現場によっては早く逃れたい場合もあるのですが...)内装工事もほぼ終りに近づき、外構工事も植栽を植えだすといよいよ完成である。

その日はエントランスの外構におしゃれな植栽が入り、夕方には「随分外観が整ったな」と満足して工事事務所に引き上げた。エントランスの照明も付いてなかなかいい雰囲気だった。帰り際に「もう一度見て帰ろう」とエントランスを通ると、昼間植えていた植栽を電気屋が掘りくり返しているではないか!「何してるん!!」と声を荒げると、電気屋いわく、「植栽を照らす照明を付けようとしたら、先行して設置しておいた入線用の(電気の配線を後から入れるための)パイプを植栽屋と一緒に埋めてしまったので見つからない」と言う。先ほどまできれいに植えられていた植栽はすでにぐちゃぐちゃだった。パイプを見つけたらきれいに元通りに戻すようにと指示し、しばらく見守っていたが、所詮、電気屋は電気屋である。どうにも元の整然とした植栽に戻りそうにない。たまりかねて私も一緒にスコップを持って植栽を整え始めた。やってみるとガーデニングもなかなか楽しく、元通りとはいかないが、それなりにできあがった。事務所の自分の机で育てている小さいアイビーを思い出し、最後にそれをこそっと植えた。

商業施設だったので、建物が竣工してからも客として行くことがあるが、最後に植えたアイビーの育ち具合を確認するのが私の密かな楽しみとなっている。

## 10.【シナリオネタの解説】C

工種	その他
安全	

現場では段取りが最重要。一つ狂うと現場が殺気立つ

### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who (誰が)	職人同士が
	Where (どこで)	現場で
	When (いつ)	工程上、止むを得ない上下作業が生じたとき
	Why (何のために)	
	How (どのように)	「危ないやないか」と
	What (何をどのように)	けんかが始まりそうになった

### 解説

現場では落下物による災害を考えて、原則として上下になるような作業は禁止している。現場監督は上下作業が発生しないように工事の段取りを考えなければならないのだが、竣工間近になったりすると設計変更や手直し等で止むを得ない場合が出てくるときがある。

その日は建物の玄関周りでタイル工事と型枠工事が上下作業になっていた。2階からタイル屋がタイルを貼り、下で大工が型枠を建て込んで。型枠大工は上の作業が気になって自分の作業に集中できない。いくら気をつけて上で作業をしてもモルタルや足場の砂が落ちてくる。

はじめは

「タイル屋さん、下、気をつけてや〜」ですんでいたのだが、

「おい、気をつけろや!」となり、しまいには

「こんな仕事やってられるかい!」と担当の現場監督に飛び掛らんばかりの剣幕で怒鳴り込みに来た。

現場監督は、工期を考えるとどうしても今日中に型枠が仕上がらないとまずいことをこんこんと説明して、どっちの職人にも頭を下げをお願いし、この日はなんとか一日の作業を安全に終わることができた。

現場では一つ段取りが狂うと大事故につながりかねない。現場では段取りが一番重要だ。

工 種	その他
	施工図

## 11.【シナリオネタの解説】D

題目： 設計図だけでは建物は建たない

### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	新入社員が
	Where（どこで）	初めての現場で
	When（いつ）	
	Why（何のために）	建物を建てるためには
	How（どのように）	設計図だけでは
	What（何をどのように）	建物が建たないことを知った

### 解説

建物を建てようとする時、設計事務所によって描かれた設計図に基づき、実際に工事を行うために詳細を検討した「施工図」を元請建設会社にて作成し、それによって実際の現場の工事は進められていく。新入社員の時、設計事務所によって描かれた設計図は詳細まで検討されており、当然それさえあれば建物を建てる事ができると思っていたので、施工図などというものがあることと、設計図通りでは不備や矛盾がありそのまま建物を建てることはできないという事に驚かされた。

## 12.【シナリオネタの解説】F

題目：竣工後

工 種	その他
	メンテナ ンス

### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	現場監督が
	Where（どこで）	引渡し後のマンションで
	When（いつ）	ちょっとした手直して
	Why（何のために）	お客さんの部屋で作業した後
	How（どのように）	ものすごく感謝され
	What（何をどのように）	食べ物もらった

### 解説

マンションのメンテナンスで、引渡し後、1ヶ月くらい、様々な手直しを行ったが、基本的にはあまり感謝されない。どちらかという、高い金出したのにこんなもの売りつけて、という態度の人が多。ただ、一生懸命対応していたら信頼されてきて、中にはお菓子などをくれる人もいた。

他の建物でも、担当者の方に感謝の言葉をいただくと、がんばった甲斐があったと感じる。

例)「ドアの建て付けが悪く、音がする。」といわれ、手直しを手配した。

行ってみると、状況は軽微なもので、簡単な手直し工事で済んだ。入居者の方は最初、不信感を持っていたようだが、世間話をしているうちに、安心したようで、「どうぞ、どうぞ」と、お茶を出してくれた。

例)「クロス(壁紙)の継目の隙間が気になる。」といわれ、見に行ってみると、自分的には全然気にならない程度であったが、とても神経質な人のようで、手直しすることになった。手直しを始めると、こっちの傷も直してくれとかあれもこれもと工事側の責任範囲外のことはいっぱい言ってきた。もめるのは避けたかったので、出来る範囲は全て直してあげた。職人も1~2時間のつもりでいたのに、1日かかってしまった。終了後、お金を払うと言ってきたが、丁寧にお断りし、笑顔でさよならした。(ひきつった笑顔だったかもしれない)

### 13.【シナリオネタの解説】C

工 種	その他
	朝礼

題目：現場の一日の流れ 8時の安全朝礼

#### 条件説明

No.	条件	説明文
	Who（誰が）	現場作業員及び現場監督
	Where（どこで）	現場の朝礼広場
	When（いつ）	朝8時に
	Why（何のために）	
	How（どのように）	安全朝礼で
	What（何をどのように）	始まる

#### 解説

現場は朝8時の朝礼で始まる。10分前くらいからぞろぞろと職人が朝礼場所に集まってくる。現場の前にはすでに朝礼終了後すぐ荷揚げする資材を載せたトラックが到着しており、現場監督もそれを目で確認しながら朝礼に集まってくる。朝礼が始まる前に、今日の作業についての資料を職長に渡して確認を含めた軽い打ち合わせをしたりする監督もいる。朝礼の司会はその週の安全当番が受け持つ。業者と現場職員から各一名で、回り持ちである。

朝礼の最初はラジオ体操。職人はすでに重い腰袋を下げているので飛んだり跳ねたりする体操のときは、工具がガチャガチャという音が現場中に響き渡る。工具が飛ばないように両手で押えて跳ぶ職人、工具があまり揺れないように小刻みに跳ぶ職人。この体操だけは明らかに違う体操になっている。

次に各業者から本日の出面（でづら：作業人数）と作業内容の発表。一番前に立っている職長が1人ずつ前に出て「業者名 出面～名 本日の作業内容は～」と順番に続く。このとき現場監督はポケットの手帳を取り出して各業者の出面を書き留める。これは当日の就労人数の把握のためであり、歩掛りといってどんな作業にどれくらいの人出がかかったかという現場管理を行う上での重要なデータとなる。

次に職員の安全当番から本日の行事や注意事項、立入り禁止区域等の説明がある。

最後に職人の安全当番からも一言あって、解散となるわけだが、ここからがいかに現場らしいのだ。安全当番は朝礼のまとめとなる一言のあとに掛け声をかけて、全員がそれに応える。例えば天候が雨だとすると、

安全当番：「本日は雨で場内滑りやすくなっていますので、足元注意で作業を行ってください。では、足元良いか?!」

全員： 「足元よし！」

安全当番：「足元良いか?!」

全員： 「足元よし!!」

安全当番：「足元良いか?!」

全員： 「足元よし!!!」

と三連呼し、最後はお決まりの「御安全に!!」で朝礼は締めくくられる。

(関東では、安全当番：「今日も一日無事故で頑張るぞ!!!」

全員：「オォー!!!」 だそうです。)

14. 【シナリオネタの解説】C

工 種	その他
	一日の サイクル

題目：現場の一日の流れ 10時、3時の休憩

条件説明

No.	条件	説明文
	Who (誰が)	職人は
	Where (どこで)	現場で
	When (いつ)	10時、3時になると
	Why (何のために)	慣例で
	How (どのように)	必ず
	What (何をどのように)	休憩を取る

解説

午前10時、午後3時になると職人は一斉に休憩を取る所以現場は静かになる。下っ端の職人は職長に言われてみんなの分の飲み物を買いに走らされる。その時間にちょうど職員が職人と現場で打ち合わせをしていると職員もごちそうになったりする。女性の現場監督がいたりすると、「10時になったら(職人の)詰め所においでや! ジュース買ったさかいな~」などと声がかかることもあり、その時間にどうしても行けないとすると「もう休憩やのに、何しとるんや?!」と携帯に電話がかかってきて「ほな、詰め所に置いとったさかい後で持って帰りや~」と言われ、現場から工事事務所に帰るまでにポケットがジュースでいっぱいだったりもする。職人はなんと言っても女性にはやさしいのだ。

業者によって職人の雰囲気はそれぞれだが、上下関係がはっきりしている職人の間だと、職長はプラスチックのビール箱に座って休憩するが、それ以下の職人は地べたに座って休憩するといった光景も見られる。職人達は30分ほど休憩をとるわけだが、夏場などはその間に短い昼寝をとる職人も多い。

現場によっては一日に現場で働く職人の数が100人を超えることなどざらなので、現場の近所のタバコ屋、コンビニなどは現場が竣工するまで、にわかには景気がよくなったりする。近隣の商店も心得たもので、現場の前に自動販売機を置かせてくれたとか、店に近いところに現場出入り口を作ってほしいだとか申し入れてきたりする。

15. 【シナリオネタの解説】 A

題目：職人は、現場監督より下請会社の社長の言うことを聞く。

工種	その他
	職人

条件説明

No.	条件	説明文
	Who (誰が)	現場監督が
	Where (どこで)	現場内で
	When (いつ)	作業終了時に
	Why (何のために)	作業通路を確保するために
	How (どのように)	型枠の整理整頓をするよう職人に注意しても聞かないが
	What (何をどのように)	下請の社長に電話して報告すると、次の日から片付けを行う

解説

職人の中には、元請の社員の言うことよりも下請の社長の言うことをよく聞く人がいる。これは、職人は直属の下請会社から給料をもらい、元請からは直接お金をもらっていないからであるのと、どんなに元請社員に評価されても、下請の社長が認めてくれなければ給料も変わらないという事情があるからである。実際には元請から下請が仕事を依頼し、その下請会社が職人に仕事を依頼している。そんな図式は頭ではわかっているが、それでも元請が言うだけでは体が動かない。それが職人である。